

令和 8 年 7 月 2 7 日
(資 料 提 供)

(事 務 担 当)
所属名：農林総合研究センター 農業試験場
中央普及支援センター 病虫害防除室
直 通：2 5 7－6 9 7 2

令和 8 年度病虫害発生予察 注意報第 3 号

今後多発生が予想される水稻の斑点米カメムシ類の発生時期や発生量、防除上の注意事項について掲載します。

1 注意報の内容

病 害 虫 名：斑点米カメムシ類
(クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメなど)
対 象 地 域：県内全域
水田侵入時期：7 月中旬以降
発 生 量：多

2 注意報発表の根拠

- 1) 出穂した、水稻ほ場における斑点米カメムシ類の発生は、40 回すくい取り調査による成虫数が 16.1 頭（平年値：13.8 頭）で平年と同様に多い。
- 2) 種類別では、飛翔性カメムシが多く、アカヒゲホソミドリカスミカメの成虫数が 1.2 頭（平年値：0.9 頭）、ホソハリカメムシの成虫数が 1.9 頭（平年値：1.3 頭）と多く、大型のクモヘリカメムシの成虫数が 10.4 頭（平年値：7.6 頭）と特に多い。
- 3) 1 か月の気象予報（令和 8 年 7 月 1 6 日付、新潟地方気象台発表）によると、向こう 1 か月の気温は高いと予想されており、水田への侵入や加害が多くなるとになると推測される。

3. 防除上の注意事項

出穂 7 ～ 1 0 日後と 1 4 ～ 1 7 日後の 2 回の防除を徹底する。
出穂後の草刈りは、本虫のほ場内への侵入を助長するので避ける。

※病虫害防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。
また、周辺作物への飛散防止に留意する。